

杉浦地域医療研究センター

活動報告2017年度



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻
杉浦地域医療研究センター運営委員会

施設概要

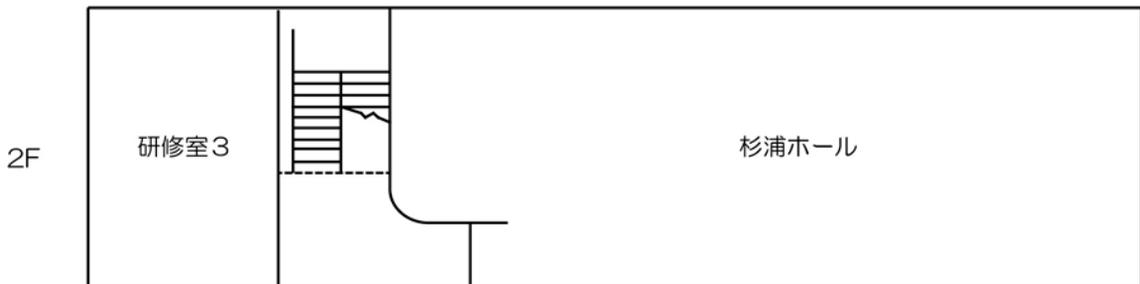
【名称】 杉浦地域医療研究センター

【開設日】 2009年6月23日

【場所】 京都大学大学院
医学研究科人間健康科学系専攻
〒606-8507 京都市左京区
聖護院川原町53

【建物概要】 階数・構造 2階建鉄骨造
延床面積 約500平方メートル

【設立経緯】 健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2017年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては109件（112日間）の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。研修室1は人間健康科学科教員室として使用された。研修室2は地域医療および地域保健の発展のための研究スペースとして使用され、公募により採択された研究グループによる研究が精力的に推進された。屋外研修室1および研修室3については、学内web予約システムによって使用予約され、多数の会議や小グループ研修会等に利用された。

施設面では、杉浦地域医療研究センター周囲のウッドデッキ改修及び石貼舗装の美装を実施した。この改修部分は交流スペースとして利用することができ、これまで以上に利用者にセンターを快適に利用してもらえるようになった。

今後、益々の活用が期待される。

2017年度 杉浦ホール利用記録

月別	日付	会議名等	利用人数
4月	4/4	末梢神経再生会議	30
	4/7	H29年度ガイダンス(看護特色1回生)	20
	4/7	H29年度ガイダンス(看護4回生)	80
	4/9	京都理学療法士会研修会	50
	4/14	地域包括ケア会議（左京区南）	30
	4/19	京都高次脳機能障害研究会	80
	4/20	学内教員研究紹介	100
	4/26	メディカルイノベーション探索会議 会場下見	10
5月	5/13	検査技術科学コース大学院説明会	80
	5/15	転倒予防講演会	25
	5/18-5/19	メディカルイノベーション探索会議	100/d
	5/20	「奉仕」と「平和」について考える青少年討論会	100
6月	5/29	掛川高校の本校訪問の際の講演会場	100
	6/9	天王寺高校の学校訪問の講演会	100
	6/13	授業（基礎検査展開学特論）	55
	6/15	学内教員研究紹介	100
	6/18	京翔会（理学療法専攻同窓会）研修会	40
	6/21	杉浦ホール見学	5
	6/21	京都聖母学院中学校学校見学	35
	6/21	京都高次脳機能障害研究会	80
	6/24	身体運動の計測・解析・可視化とその応用に関する研究会	80
	6/25	糖尿病カンパセーション・マップ TM ～ファシリテーター・トレーニング京都～	40
	6/26	高度実践看護に関する講演会	50
6/30-7/2	緩和ケア研修会	50/d	
7月	7/4	公聴会	60
	7/18	公聴会	60
	7/19	看護管理者研修	80
	7/20	病院救急部、講演会場の下見	3
	7/20	学内教員研究紹介	100
	7/22-7/23	スピリチュアルケアセミナー	70/d
	7/24	葦崎高校SSH関西研修	30
	7/28	共通課題ゼミ（大学院修士課程必修授業）	70

月別	日付	会議名等	利用人数
8月	8/4	共通課題ゼミ（大学院修士課程必修科目）	70
	8/7	洛北高等学校、山城高等学校の学校訪問の際の講演会	70
	8/7	富士通&MSSとの打ち合わせ	10
	8/8	オープンキャンパス準備	50
	8/9	オープンキャンパス模擬講義	50
	8/11	サマーセミナー	100
	8/19-8/20	SPACE-Nフォローアップ研修会	50/d
	8/21	転倒予防講演会	30
	8/21	四天王寺高等学校訪問の講演会	100
	8/25	2017年度専門的緩和ケア看護師教育プログラムの設営	10
	8/26	2017年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	8/27	京都高次脳機能障害研究会 夏季特別講演会	100
	8/28	修士課程入試準備	80
	8/29	修士課程入学試験	80
8/30	兵庫高等学校、四條畷高等学校訪問の際の講演会	100	
9月	9/5	公聴会	50
	9/16	近畿日本リハビリテーション学会	90
	9/16	ELNEC-PPC指導者養成プログラム打合せ	25
	9/17-9/18	ELNEC-PPC指導者養成プログラム	80/d
	9/20	ACP研究会	40
	9/21	プロジェクト報告会	10
	9/23	対話型学習プログラム研修会準備	10
	9/24	対話型学習プログラム研修会	30
	9/28	地域包括ケア会議（左京区南）	50
9/30	2017年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50	
10月	10/4-10/6	変形性膝関節症進行予防会	60/d
	10/7	CLiP	100
	10/14	ELNEC-J フォローアップ研修会	50
	10/16	転倒予防研究会	30
	10/18	京都高次脳機能障害研究会	80
	10/22	2017年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	10/31	博士後期入試準備	80
11月	11/1	博士後期課程入学試験	80
	11/2-11/5	緩和ケア研修会	50/d
	11/6	転倒予防講演会	40
	11/10	特色入試準備	100
	11/11-11/12	特色入試	100/d
	11/17	日本生理人類学会会議	60
	11/18	市民公開講座	100
	11/19	2017年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	60
11/29	杉浦ホール見学	5	
12月	12/8	理学療法卒論発表会	50
	12/9	JPTSA国際会議	30
	12/11	転倒予防講演会	40
	12/13	看護研究発表会準備	20
	12/14-12/15	看護研究発表会	80/d
	12/20	京都高次脳機能障害研究会	80
1月	1/9	看護学専攻卒業試験	100
	1/12	検査技術科学専攻卒業研究発表会	100
	1/13	小児がん拠点病院主催の小児がん看護研修	80
	1/16	看護学専攻卒業試験	100
	1/18	学位審査公聴会	40
	1/19	幹細胞搬送システム開発（BioL）コンソーシアム	40
	1/19	地域医療セミナー（京都府地域医療支援センターの京大ランチ事業）	40
	1/21	第4回ACP看護研究会公開講座	100
	1/23	看護学専攻卒業試験	100
	1/24	定例会議	80
	1/25	博士学位審査公聴会	30
	1/27	がんリハビリテーション特別講演会	50
	1/29	味覚検査	30
	1/29	LIMS学生ポスター発表	50
	1/30	看護学専攻卒業試験	100

月別	日付	会議名等	利用人数
2月	2/3	生活習慣病看護学セミナー	50
	2/5	味覚検査	30
	2/7-2/8	検査技術科学コース修士論文発表会	100/d
	2/9	公聴会	50
	2/10-2/11	第3回ELNEC-Jクリティカルケアカリキュラム指導者養成プログラム	80/d
	2/13	坪山直生先生最終記念講義	100
	2/17	検査技術科学専攻 キャリアパスセミナー	80
	2/19	日本超音波医学会 第4回光超音波画像研究会	50
	2/21	京都高次脳機能障害研究会	80
	2/23-2/26	一般入試に伴う作業	10/d
	2/28	左京南圏地域ケア会議	65
3月	3/3	京都作業療法実践研究会	50
	3/9	全国国立大学放射線技士会	80
	3/19	健康増進教室説明会	20
	3/28	施設見学	2

2017年度 杉浦地域医療研究スペース活動実績報告書

課題名：地域在住中高齢者のロコモティブシンドローム予防のための運動器の機能向上に関する大規模研究

研究代表者：坪山 直生

使用スペース：地域医療研究室

1) 活動実績の概要

平成29年度の活動として、京都府在住および滋賀県長浜市在住の中高齢者を対象に運動機能や骨格筋特性、移動動作能力を測定し、地域在住中高齢者の運動器変化と動作能力との関連について分析した。さらに、滋賀県長浜市在住中高齢者873名を対象に実施した1年後の追跡アンケート調査の分析を行い、転倒歴と運動機能との関連についての縦断的検討を行った。

本研究スペースについては、測定に用いている研究機器や関係資料一式を保管し、データ入力・解析を行うスペースおよび関係する大学院生の研究スペースとして使用した。

2) 今後の研究の展望 等

本研究課題では地域在住中高齢者における運動器変化や生活動作能力を多面的に捉えて評価し、運動器変化と動作能力との関連についてリスク因子の影響も踏まえて大規模研究により解明する。平成29年度からは滋賀県長浜市民約1万人を対象としたコホート研究（ながはま0次コホート）をベースとした長期縦断研究が開始され、平成24年～27年度に測定した対象者に対する前向き追跡研究が順次実施される予定である。そのため、今後は5年前に実施したベースライン調査データからの前向き追跡研究により、ロコモティブシンドロームを引き起こす運動器変化のカットオフ値を解析する予定である。これらによって、地域での介護予防事業を策定する上で、介入対象となるハイリスク者を見分ける判断基準が得られ、ロコモティブシンドロームや要介護リスクを早期に診断・予防することが可能となると考える。

3) 研究成果（発表論文、学会、出版物、産業財産権など）

【平成29年度論文】

● Malinowska KB, Ikezoe T, Ichihashi N, Arai H, Murase K, Chin K, Kawaguchi T, Tabara Y, Nakayama T, Matsuda F, Tsuboyama T: Self-Reported Quality Of Sleep Is Associated With Physical Strength Among Community-Dwelling Young-Old Adults. *Geriatr Gerontol Int.* 2017 Nov; 17(11):1808-1813.

● Inoue W, Ikezoe T, Sato I, Mlinowska KB, Kawaguchi T, Tabara Y, Nakayama T, Matsuda F, Tsuboyama T, Ichihashi N: Are there different factors affecting walking speed and gait cycle variability between men and women in community-dwelling older adults? *Aging Clinical and Experimental Research* 2017 Apr; 11. 29(2):215-221.

● Taniguchi M, Yamada Y, Fukumoto Y, Sawano S, Minami S, Ikezoe T, Watanabe Y, Kimura M, Ichihashi N: Increase in echo intensity and extracellular to intracellular water ratio is associated with muscle weakness in elderly women. Eur J Appl Physiol. 2017 Oct; 117(10):2001-2007.

【平成29年度学会発表】

国際学会発表

● Ikezoe T, Isono R, Ichihashi N, Tabara Y, Nakayama T, Matsuda F, Tsuboyama T. Association between the locomotive syndrome and physical function in community-dwelling older adults: A longitudinal study. The 22nd Annual Congress of the European College of Sport Science. 2017. July. 5-8.

● Yamagata M, Tateuchi H, Shimizu I, Ichihashi N: The effects of fall history in community-dwelling older adults on joint coordination during gait. The 22nd Annual Congress of the European College of Sport Science. 2017. July. 5-8.

国内学会発表

● 池添冬芽, 井上和郁子, 正木光裕, 神谷碧, 磯野凌, 加藤丈博, 佐伯純弥, 山縣桃子, 田中真砂世, 田原康玄, 松田文彦, 坪山直生, 市橋則明. 地域在住中高齢者における生活空間と身体的・心理的因子との関連についての共分散構造分析. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 谷口匡史, 山田陽介, 福元喜啓, 澤野翔一郎, 渡邊裕也, 木村みさか, 市橋則明: 高齢者の膝伸展筋力に骨格筋の質的变化が及ぼす影響—筋輝度だけでなく骨格筋細胞外液比が関連する—. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 山縣桃子, 建内宏重, 清水巖朗, 市橋則明: 地域在住高齢者の転倒有無が歩行時の関節協調性に与える影響. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 加藤丈博, 池添冬芽, 田島稔己, 佐藤駿介, 豊田ひかり, 中島貴洋, 八木悠太, 市橋則明: 高齢者における安定した支持面上および不安定板上での片脚立位制御とRate of Force Developmentとの関連. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 佐藤駿介, 池添冬芽, 磯野凌, 神谷碧, 加藤丈博, 佐伯純弥, 山縣桃子, 田中真砂世, 正木光裕, 田原康玄, 松田文彦, 坪山直生, 市橋則明: 地域在住高齢者における転倒と多様な下肢筋力・筋機能との関連についての前向きコホート研究. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 八木悠太, 池添冬芽, 他: 地域在住高齢女性における転倒恐怖感と姿勢制御能力および下肢筋力の関係. 第52回日本理学療法学術大会. 2017.5.12-14.

● 正木光裕, 池添冬芽, 坪山直生, 市橋則明, 他: 地域在住高齢者に対する段差昇段トレーニングの違いが段差昇段時間および運動機能に及ぼす効果 無作為化比較対照試験. 第52回日本理学療法学術大会 2017. 5. 12-14.

● 神谷 碧, 池添 冬芽, 磯野 凌, 加藤 丈博, 山縣 桃子, 佐伯 純弥, 田中真砂世, 正木 光裕, 田原 康玄, 松田 文彦, 坪山 直生, 市橋 則明: 地域在住中高齢者における身体的フレイルに関する一考察. 第52回日本理学療法学会大会. 2017.5.12-14.

● 池添冬芽, 市橋則明, 磯野凌, 田原康玄, 中山健夫, 松田文彦, 坪山直生. 地域在住中高齢者における下肢筋力およびバランス機能がロコモティブシンドロームに及ぼす影響-ながはまスタディ. 第59回日本老年医学会学術集会. 2017.6.14-16

● 福元喜啓, 池添冬芽, 渡邊裕也, 木村みさか, 谷口匡史, 浅井剛, 市橋則明. 加齢による四肢・体幹筋の量的・質的变化~5年間の追跡調査~第72回日本体力医学会大会 2017.9.16-18



京都大学
KYOTO UNIVERSITY